



学校・家庭・地域をつなぐ

塩浜小 学校だより

令和4年1月21日

No.25

「授業参観」 中止させていただきます・・・

1月21日(金)より、三重県に「三重県まん延防止等重点措置」が適用されました。三重県内では、昨日、364件の新規感染者の報告があり、四日市市内でも多くの方々が新型コロナウイルスに感染されたという報告がされています。

本日、四日市市教育委員会から「一定の人数が来校するような行事(授業参観、講演会等)については、オンラインまたは延期とするように」との指示がきました。その指示を受け、本校としましても、1月28日(金)に予定していました授業参観を中止させていただくこととしました。本校職員たちも、子どもたちが活躍する姿を保護者の皆様にご覧いただくよい機会と思っておりましたので、とても残念ではございますが、子どもたちの安全を第一に考え、中止させていただくことと決めました。ご理解いただきますようお願いいたします。

なお、1月26日(水)～2月2日(水)に予定しています校内作品展およびPTA役員決めは、感染対策を行いながら予定通り実施します。子どもたちとの接触を避けるため、職員玄関横の開放用玄関からお入りください。また、校内に入られる時には、保護者用名札を掛けてお入りください。

◎感染対策を行ないながら開催します

【校内作品展】

日時 1月26日(水)～2月2日(水) 9:00～16:00
会場 管理棟2階 多目的ホール

【PTA役員決め】

選出対象となられている方は、1月28日(金)に、下記の時間帯に
管理棟1階 コミュニティ室にお越しください。

(該当の方には、後日、お子さんを通じて案内をお渡します)

5年:11時40分⇒4年:11時50分⇒3年:12時
⇒2年:12時10分⇒1年:12時20分 に集合してください。

※ 児童との接触を避けるため、教室への立ち入りはご遠慮ください。

「いのちの奇跡と軌跡」

～ 生まれてきてくれて ありがとう ～

1月18日(火)5・6限目に、助産師の矢野友起子さんにお越しいただき、「性と生命」に関する出前授業をしていただきました。

矢野さんからは、「皆さんは、パパの1～3億個のうちのたった1個の精子とママの1個の卵子が結びついて、お母さんのおなかに宿った選ばれた奇跡の命」「皆さんが生まれる確率は、1400兆分の1」「1億円の宝くじが連続で100万回当選する確率」「生まれてきた皆さんは、かけがえのない一人」「出産は、産むお母さんも、生まれる赤ちゃんも命がけ」等、生命の神秘さや命の尊さについて、丁寧に教えていただきました。

当日、重さ8kgほどの妊婦ジャケットをお持ちいただき、胎児がお腹の中にいる時の妊婦さんの大変さを体験してもらいました。子どもたちは、腰が痛くなった、下に落ちているものを拾うのが難しい、お腹が引っかかって前に曲げられない、起き上がるのが大変など、体験する中でいろいろなことに気づくことができました。また、新生児の特徴を教えていただいたあとに、実際に新生児人形を抱っこさせてもらいました。恐る恐る抱っこする子がほとんどでしたが、中には、慣れた手つきで「かわいい」と言いながら抱っこしている子もいました。

後半では、「思春期の心と体の変化」についてもお話をいただき、プライベートゾーン（自分だけが見たり触ったりしてもよいところ）」について、ふだん家庭内でも話題にしにくい性器のことについて詳しく教えていただいたり、そろそろ思春期に入り始める6年生の子どもたちの疑問にも答えていただいたりしました。

最後に、矢野さんから、「些細なことでもよいのです。皆さんの周りの人を幸せにする仕事や役割を持ってください。」というメッセージをいただき、出前授業を終えました。

とても心が温まる素敵な授業でした。矢野 友起子さん、ありがとうございました。



【子どもの感想】

- ・妊婦ジャケットをつけて横になったり起きたりしようとした時、体が思うように動きませんでした。お母さんは、こんな大変な思いをして、私をお腹の中で育ててくれたんだと思いました。
- ・赤ちゃんを産むのは命がけだと教えてもらった。ぼくが、今、生きていられるのは、お母さんのおかげなんだと思った。
- ・お母さん、産んでくれてありがとう。

